

産地の高付加価値化に向けて

2024年12月19日

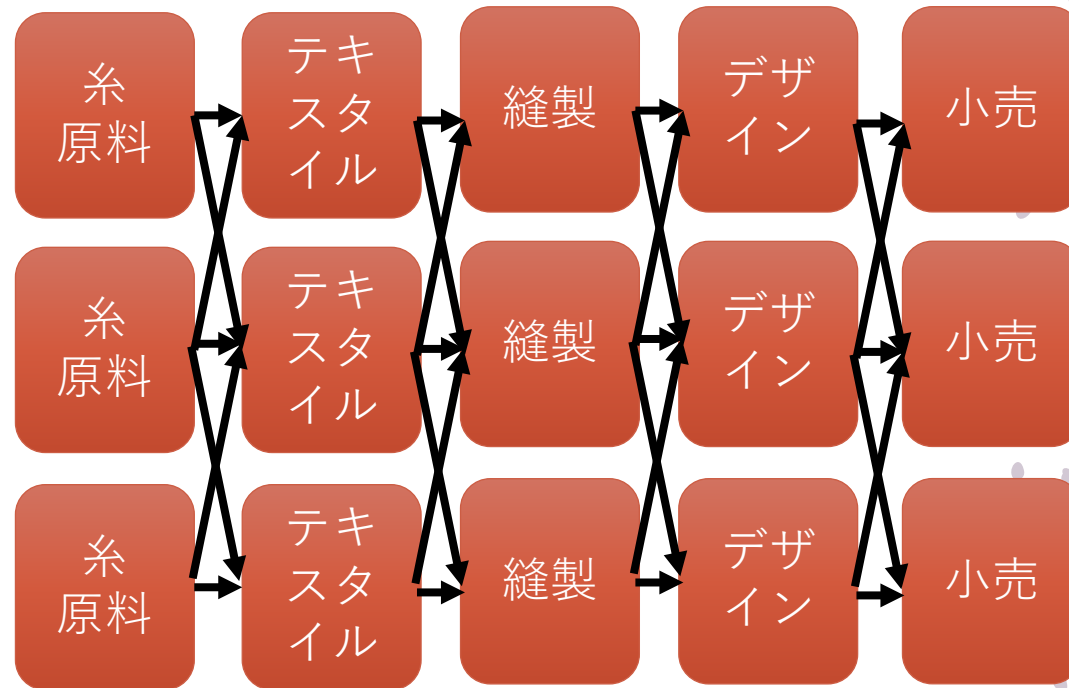
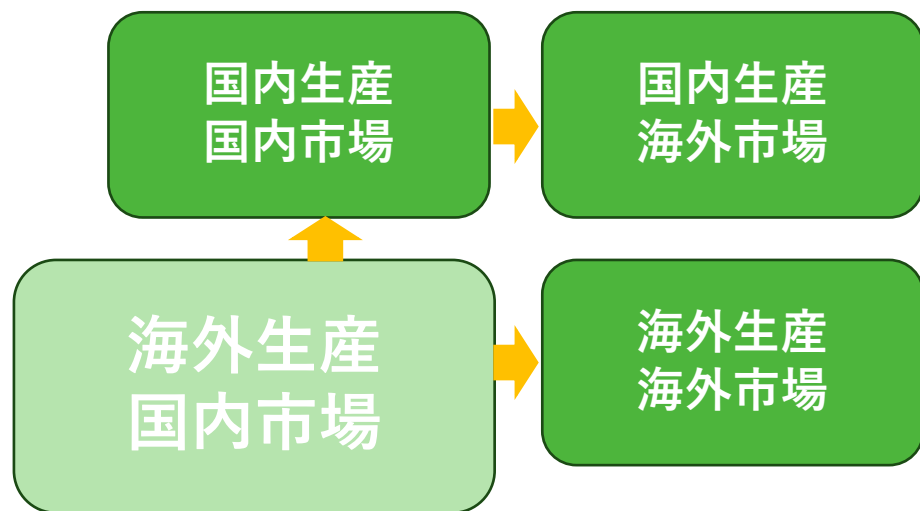
明治大学 奥山雅之

産地の付加価値向上のための提案

- オルタナティブネットワーク



- 産地ならではのイノベーション



産地の付加価値はどのように決まっていくか

- サプライチェーン全体の付加価値の大きさ
- サプライチェーンにおける地域産業の付加価値の取り分の割合

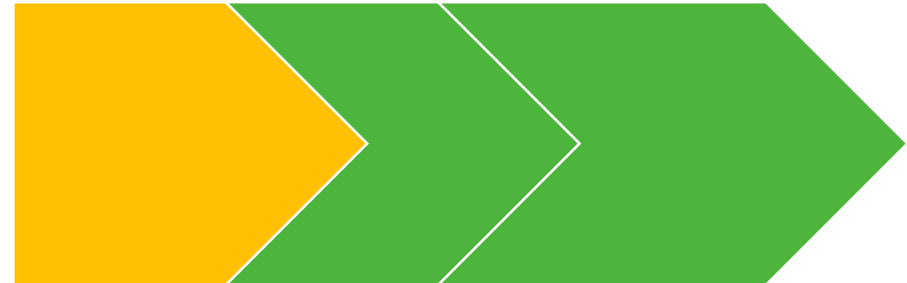


主流となっているサプライチェーンだけでなく、代替的なサプライチェーン（オルタナティブネットワーク）の構築も必要なのではないか？

価格決定権

金融

リスクテイキング



オルタナティブネットワークの必要性

- ・産地の価値の適性化を図る
→適正な資本蓄積と再生産維持、健全な経営者所得と承継可能性の拡大
- ・サプライチェーンの商慣習、価格のアンカリング(ロックイン:後述)から脱却する
- ・消費者への価値提供視点を変える

オルタナティブネットワークの例

- ・新たな分業の組み合わせ（産地内の新たな企業の組み合わせ、産地間分業・・・）

- ・新しい小売業態での販売（〇〇店で服を売る・・・）、web活用、ユーザーとの直接接触（観光、直売ショップ・・・）

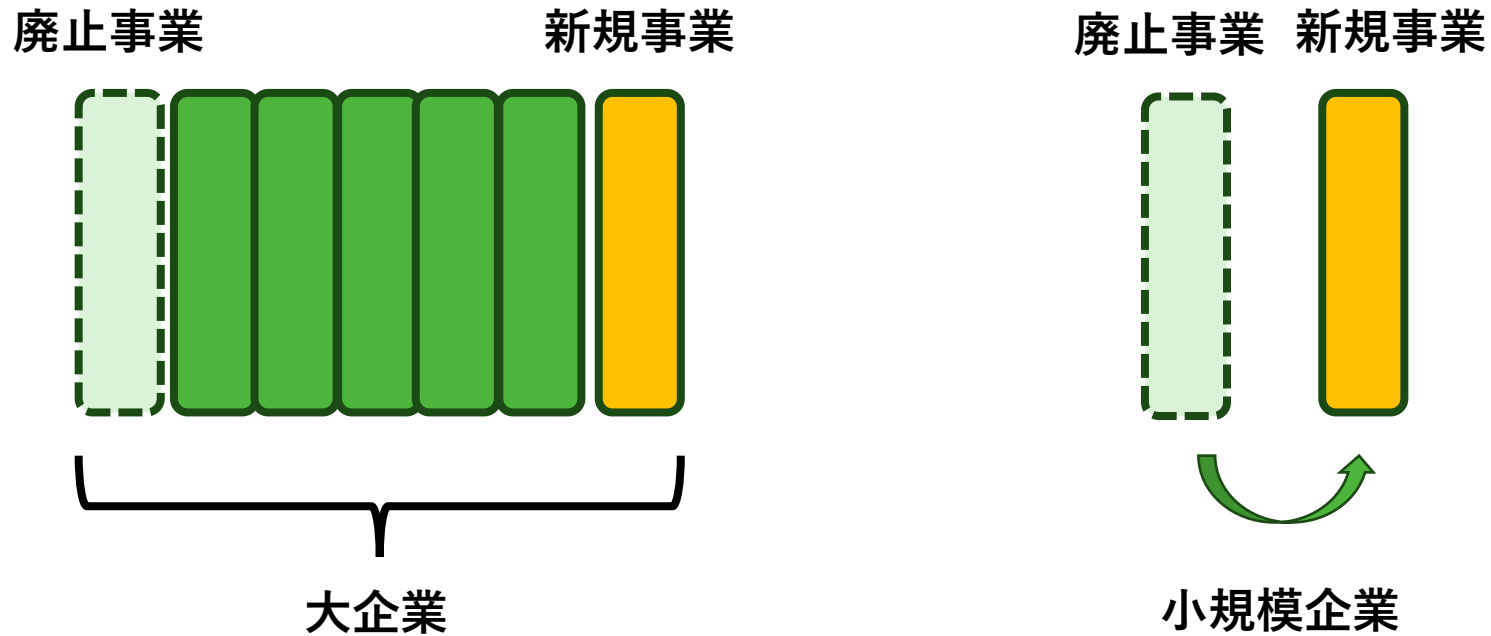
☆産地の役割拡大（生産→製品企画・デザイン→事業企画・マーケティング）がポイント

産地ならではのイノベーション

既存のサプライチェーンとの対比を差別化要素に

- ・素材の良さ、つくり(縫製・加工)の良さ、技術力
- ・流行にとらわれない普遍的なデザイン
- ・ローカルな価値(手仕事、民藝的価値)

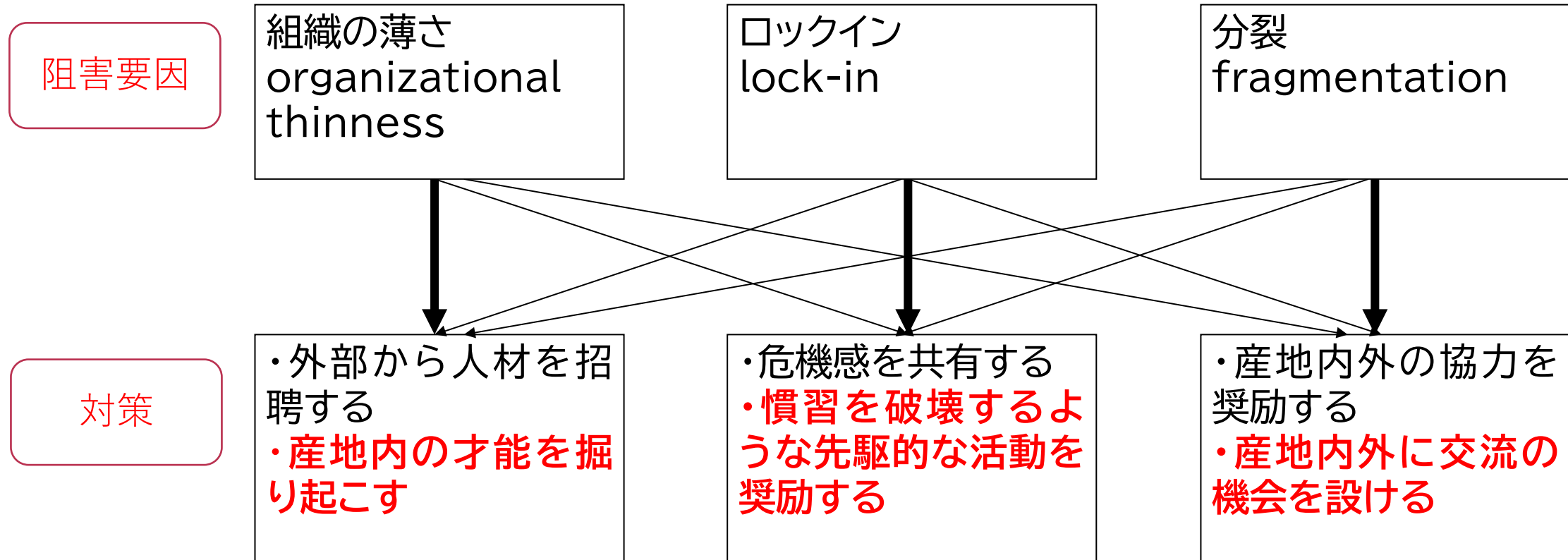
企業規模によるイノベーションの違い



- 小規模企業のイノベーションのタイミング: **事業承継**

地域システムとしてのイノベーションの阻害要因

- 産地によって異なる→対策も異なる



Tödtling and Michaela Trippel (2005) One size fits all?: Towards a differentiated regional innovation policy approach, Research Policy vol. 34, issue 8, 1203-1219より作成